導入事例

耳科手術後のパッキングで、組織に固着しにくく抜去が容易なアイヴァロン（耳）を採用した導入事例

2026.11.13　#イヤーウィック　#アイヴァロン（耳）



900床規模 大学病院の耳鼻咽喉科では、耳科手術後のパッキングに使用していた従来品が廃番となり、供給停止への対応が課題でした。十分な止血と抜去の容易さを重視し、アイヴァロン（耳）を採用した事例です。

導入先	900床規模 大学病院の耳鼻咽喉科医師
使用場面	耳科手術後のパッキング
目的	止血、保護

1. 事例のご紹介

2. 許容したこと・注意点

3. お客様コメント

4. 使用製品

事例のご紹介

900床規模の大学病院耳鼻咽喉科では、耳科手術後に止血と保護を目的としたパッキングを行っています。これまで使用していたパッキング材が廃番となって供給が停止したため、代替となる製品を選定する必要がありました。

選定にあたっては、①十分に止血できること、②抜去が容易であることの2点を重視しました。仕様面では、ひもなしでカットできるものを希望していました。最終的な決め手となったのは、抜去の容易さです。

従来品は加水分解するタイプで便利な面もありましたが、結局は吸引が必要になることも多く、吸いきれずに中途半端に残ってしまうことがありました。アイヴァロン（耳）のイヤーウィックはPVA製スポンジのパッキング材で、加水分解しないため、吸引に頼らずそのまま抜去できます。

アイヴァロン（耳）は、組織に固着しにくく、抜去が容易な点が評価されました。導入後は、抜去時に困ることなく術後のパッキングに活用されています。

許容したこと・注意点

・加水分解しないため、鼓膜内の処置には使用できないこと

お客様コメント

「従来品は加水分解するので便利な点もあったが、結局吸引が必要なことも多く、中途半端に吸いきれないことがあった。イヤーウィックはそもそも加水分解しないので、そのまま抜くのが簡単で困ることがない。表面がつるっとしており、ひっつくことがなく抜去が非常に容易で活用できている。」

使用製品

販売名：アイヴァロン
区分：一般医療機器
届出番号：12B1X00003IVALON
製造販売業者：株式会社名優
採用品番：Q605202（イヤーウィック 9mm×24mm）
この事例での役割：耳科手術後に留置して止血・固定を行い、加水分解せず容易に抜去できるパッキング材として機能
製品ページ：https://meilleur.co.jp/product/nasal-packing-ear/

よくある質問

Q　なぜアイヴァロン（耳）が採用されたのですか？

A.　従来品の廃番に伴う代替品選定で、十分な止血と抜去の容易さを重視した結果、組織に固着しにくく抜去しやすい点が評価され採用されました。

Q　加水分解しない点は問題になりませんでしたか？

A.　鼓膜内の処置には使用できないことを把握したうえで採用しています。加水分解しないことで吸引に頼らずそのまま抜去でき、抜去時に困ることがない点が評価されています。

次の記事 〉

一覧に戻る

製品カタログ一覧

お問い合わせ